

令和 4 年度
学校関係者評価報告書

令和 5 年 6 月
昭和大学医学部附属看護専門学校

I 重点事業について

1 重点目標（1）教育 について

①取組課題

オンライン・オフライン（対面式）のハイブリッド型講義の・演習の実施

【事業計画】

オンラインでの講義を継続するとともに、オフライン（対面式）によってより高い学修効果が得られる内容については講義・演習をさらに充実させて実施します。オンラインでの講義・演習はライブ方式とオンデマンド方式を併用して、より教育効果を高められるようにしていきます。

【計画の達成度】

対面式の機会が増え、オンラインと併用しながら教育効果が高められたと考える。学生の意見からもオンデマンドは復習ができていいという意見から、科目によって授業方法については、今後も検討していく。

②取組課題

学修成果基盤型教育に基づき臨地実習の改革を実施

【事業計画】

令和3年度シラバス・実習評価を見直し、今年度はその計画に基づき実施し、評価を行います。

【計画の達成度】

実習評価は、ループリック評価を一部導入し、学生へのフィードバックを強化したことで計画的に実施できた。しかし、コロナの影響で、学内実習も多かったが、臨地と学内での実習評価に大きな差はなかった。

専門科目の学習成果・到達目標については、保健医療学部教育推進室の協力のもと内容を検討した。成人看護学については、その内容を来年度へ組み込んでいく。他の領域は来年度も継続して検討していく。

③取組課題

指定規則変更に伴うカリキュラム改革の継続

【事業計画】

令和4年度より、1年次基礎看護学の新設科目（看護基本技術Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）のオンラインと対面での演習をミックスさせて行います。また、医療安全、看護の統合と実践の科目を1年次から2年次に変更し、実践をイメージできるよう、オンラインと対面演習を効果的に行います。地域在宅看護論実習が2年次に変更になるため、講義と演習の時期や内容を見直し、実施するとともに、領域横断科目についても検討していきます。

【計画の達成度】

カリキュラムの改革は、保健医療学部との検討の中で、再度見直しを行った。その内容を来年度申請し、令和6年度から変更していく。

④取組課題

マンダラチャートをもとに、自律性への支援強化学

【事業計画】

面接や交流等を効果的に行うように、QUの結果を使いながら、教員のスキルアップを行い、支援を強化していきます。

【計画の達成度】

マンダラチャートについては、定着し学習支援に有効に活用している。

⑤取組課題

ICT教育を活用した自学自習の推進

【事業計画】

令和3年度試験的導入したeNurseEdと導入後3年を迎えたナーシングスキルの教材を有効活用し、自学自習を推進していきます。

【計画の達成度】

ナーシングスキルは学生に定着した。eNurseEdは、試験問題や国家試験対策などにさらに活用できるよう促す。自学自習には、学生の個人差があるが活用は推進された。

2 重点目標（2）学生の受け入れ について

①取組課題

入学広報・推薦入試の充実

【事業計画】

入学志願者増加させるために、広報や学校説明会、オープンキャンパスなどの活動をさらに充実させます。また、推薦入試における評価に書類審査を導入検討します。

【計画の達成度】

コロナ禍でもオープンキャンパスや学校説明会の動画、個別相談を行い、入学志願者数を維持できたが、増加することはできなかった。書類審査もコロナ化ということがあり、点数化は難しいが審査の対象とした。

3 重点目標（3）その他

①取組課題

・自己点検・自己評価活動の推進

【事業計画】

内部質保証による教育・研究活動の充実に繋げるための自己点検・自己評価を引き続き実施します。

【計画の達成度】

今年度から学生懇親会を開催し、学生の意見をくみ取り教育活動に活用することができた。

②取組課題

・教員の育成

【事業計画】

臨床研修を計画的に実施し、教員ラダー評価の向上を目指します。

【計画の達成度】

臨床研修は、2年目を迎え実施できた。今年度は臨床教員導入に向けて各科目のFDを行い、教育に関する教員間での検討や各自でも必要な学習を行うことなど継続的に取り組んできたことが成果となり、各項目とも維持・上昇がみられ、ラダーアップにつながった。

Ⅱ. 各評価項目について

1 学校運営

学校のビジョンおよびそれを実現するための組織目標を策定し、中間評価を実施し、後期に活かしている。また、目標は、法人とのずれがないように意識されている。コンプライアンスについても、法令や倫理を意識した運営がされている。

しかし、昨年度より評価が低下しており、その要因として複数の新規プロジェクトが同時進行し、意思決定のしくみをうまく活用できなかったと分析されている。意思決定の仕組みは明確化されているが、業務過多などにより平時の情報共有や意思決定の場を有効に活用できなかったとのことである。新規事項への取り組みは、時代の流れに応じた教育体制を構築するために必要なことであるため、個々の教員が、チームでの活動をより意識し行動できるような工夫を検討されたい。

2 教育課程・教育活動

卒業時に持つべき資質として、教育理念と一致した教育目標・ディプロマポリシーが設定されており、卒業時の達成度評価が実施できている。

各科目においても、シラバスに、評価方法・評価基準が公表されており、学生の学修活動の促進につながっていると考えられる。終講時は学生にアンケートを実施し、各領域で学習内容や教授活動の見直しが図られていることは評価できる。現在は、領域の検討で終わることが多いとのことで、今後は、全体での教育課程を踏まえ検討する機会を定期的に開催することが望まれる。

実習では、感染予防対策を優先に実習環境が整備され、病棟への実習日数・学生数の調整が行われている。コロナ禍であったが、法人のバックアップの基、随時調整を行いながら、可能な範囲で実習病棟が確保されており、概ね予定通り実習ができています。実習評価においては、学生の自己評価も反映させ、臨床指導者から直接フィードバックがなされ、学生の納得性を高め、次の学修活動につながっている。

3 学習成果

学習支援が必要な学生には、必要時、面談や支援を行い、個別対応がされている。しかし、退学率において全体では2.9%であったが、1年生では4.4%と高くなっている。早急に単位取得上、困難となる要因を分析し対策を講じることが望まれる。2月に発足した教育推進委員会が中心となり進めていく予定とのことで、新規取り組みに期待したい。

国家試験対策においては、1年次から3年間を通し計画的に進められている。結果も2年連続100%の合格率であり、それ以外も常に全国平均を上回るという好成績を維持できていることは、高く評価できる。

4 入学・卒業対策／就職・進路支援

昨年度に引き続き多くの入学者を確保する為に前年度の結果を分析し、志願者の確保に努めている。志願者の要望を取り入れ、感染予防に留意し、オープンキャンパスや個別訪問などの開催を復活できている。150名の入学定員を確保できているが、地元志向や大学志向などから、志願者が減少傾向であるため、貴校の強みをより一層アピールし、志願者の確保が望まれる。

5 学生生活への支援

経済的支援での奨学金制度は充実しており、経済面のサポート体制は整っている。健康面・精神面のサポートとして、保健管理センターとの連携や学生相談室の学校カウンセラーの配置など、十分な体制が整っている。

コロナ禍の影響により、クラブ・サークル活動への参加が滞っていたが、令和4年度から大学の学生課と連携し再開の調整が行われており、自主活動の支援が行われている。

また、代表学生と校長、副校長、学年主任、事務長などが参加する懇親会が新規事項として開始され、学生の意見から必要な改善策が取られていることは高く評価できる。

6 財政、施設設備の管理

施設・設備については予算措置を図り毎年見直し整備されている。施設・設備の安心、安全は、確保されている。教育目標達成に必要な施設設備・教材は整っている。一部使用できない視聴覚機器については、早めの修理が望まれる。

実習室の物品については、インベントリーを行い、時代に応じた必要な教材を整えている。実習室の利用においては、コロナ禍で使用制限があるようだが、次年度からは、利用制限の緩和が望まれる。

図書室は専任の司書が配置され、十分活用できている。大学の学生ホールや食堂の利用も再開されている。

防災については、部分的には実施されているが、学校全体の防災訓練や防犯・安全対策が数年間実施できていない。次年度は消防署・警察署の協力を得ての訓練の実施が望まれる。

7 教職員の能力向上

全教員が授業を公開し、授業後に意見交換を行っている。また他校との定期的な交流会の仕組みがあり、それらを自校の教育に還元できていることは評価できる。これらの、授業改善への取り組みは今後も継続していただきたい。

教員の質の向上の1つとして、ラダーを取り入れていることは、各教員のキャリアアップの視点として有効である。

8 広報・地域活動

オープンキャンパスや学校説明会の開催案内、入学式、卒業式、戴帽式等の式典を適宜ホームページに掲載し情報を発信している。

学園祭を通して、地域との交流が数年ぶりに実施できている。一方、近隣の小学校への授業協力が無くなったとのことで、同様の活動の場を開拓する必要がある。社会への一員としての活動が少ないため、地域に何が必要とされ、何ができるのかを考え、学生が地域に貢献できるような環境を整えるなどの学生支援を強化して欲しい。

以 上